

外国籍の方の支援を通して感じたこれからの地域づくり 「ME を WE にするために必要なこと」 ～中野区社会福祉協議会～

中野区社会福祉協議会としては・・・

直接支援ではなく、区民と一緒に考え、制度で支えている。
顔の見える窓口として、困っていることなど少しお話をきいて、相談機関、制度につながらないところを結びつけて支援している。

- ・福祉何でも相談 ・まちなかサロン ・子ども食堂
- ・地域活動の支援など

CSW(コミュニティ ソーシャル ワーカー)の役割
今までの支援では足りないところを担っている。
困っている人ほど情報を得ていない。

外国籍の人も増えている、地域に入ってきめ細やかに対応している。社会的孤立を生まないようにしたい。多様な人たちが横につながっていけるように。



相談支援から見えてきた課題

- 在留資格の制約と不安定さ
- 行政手続きの煩雑さと情報不足
- 医療アクセスの困難さ



外国籍の方への支援で感じたこと

居場所が、交流の場をきっかけに、国籍に関わらず理解しあい、お互いに困ったことを話せる場となることを目指したが・・・

- ・それぞれの文化があり、他の国との交流は難しい
- ・住民同士の交流も外国籍の方向けの居場所だと、参加しにくいとともに、何をしているのか見えにくい
- ・必要な人を居場所につなげるための一押しがいる
- ・子どもたちの年齢や特性に応じた対応が必要である(言葉だけでなく、発達や落ち着いて学ぶための支援が必要である)
- ・日常生活の中での文化の違いやコミュニケーションの課題に支援が追いついていない
- ・地域の理解や協力を広げていく必要がある(居場所のスタッフの拡充や子どもたち一人ひとりへの対応)

外国籍に特化した課題ではなく、生活スタイルや多様な価値観での社会の変化における地域課題と変わらないのではないかな。

多様なニーズに柔軟に対応できる地域づくりとは。

地域が変わることも必要だが、丁寧に向き合い、コミュニケーションをとることが求められている。

まずはできることから 一歩ずつ進めていく

社会福祉協議会として、地域の皆さんと一緒に取り組みたいと考えていること

- ①伝えたいことが届くように努力していく。
言葉を理解する。伝えたいことを伝える工夫をする。翻訳や表現が難しい場合は力を借りる。
- ②きっかけを作る。
顔を合わせるための場をつくる。まずは、顔なじみになるとそこから次の何かが始まる。
- ③コミュニケーションに隠れた課題を想像する。
言葉が通じないことにより、見えにくくなっている課題を考えていく。
- ④関心のある人や何か力になりたいという人を広げる。
地域の皆さんと一緒に話し合い、考える機会を作り、何かできることがないか行動につなげていく。
- ⑤お互いに納得できそうな着地点を見つける。
どちらかにすべてを合わせることは難しいので、どこまでならお互いに納得ができるか考えていく。

お話を聞いた感想、それぞれの立場で日々感じていることを グループで 懇談しました！



☆マークとか絵にして可視化して伝えていくのがいいのでは？

☆案内の翻訳もあるといい。

☆まずは関わる事が大切。
自分から進んであいさつできた
らいいな。

☆挨拶カードを作って交流する。

☆日本の生活・文化を学ぶ場があるといい
と思う。日本語をおしえるのと同時にこちら
からも歩みよることも大切ではないか。

☆文化の違いがある。

☆生活の時間帯が違う。

☆外国の方にも町会に入ってもらいたい。
いろいろな人に町会とは・・・を知ってもら
いたい。

☆地域に通訳してくれる人もいるのでは。

☆橋渡ししてくれる人がいるといい。

☆外国の方を招いてイベントなどできたらいい
いな。

☆学校も課題がたくさんある。区としてサ
ポートしてほしい。日本語学級を設置し
てほしい。派遣の方も対応してくれてい
るが、足りていない。
みんなで考えていく必要がある。

☆様々な国の子どもたちがいるが、理解度
はまちまち。

☆保育園・幼稚園では、子どもはなじむの
が早いが、保護者は言葉の壁がある。

保育園・幼稚園にも アンケートでお聞きしました！

Q 外国籍のお子さんがあること で、良かったと思うことは？

- *多様性のある環境の中で保育ができる。
- *子どもたちは「同じ友だち」として捉えている。
- *保護者の方から、国の文化や習慣、様々な話を聞くことができ、子どもたちと一緒に世界の文化に触れる機会を得られる。
- *他の国の文化に親しみがわく。
- *友だちがいることで、自然に生活の中でいろいろな国があることを知ることができる。

Q 課題に思うことは？

- *保育園や自治体の書類関係や手続きが、進みにくい。
- *食文化の違いや和食の味に慣れない場合もあり、対応が必要になることもある。
- *細かなことが、伝わりにくい場合もある。

Q その他

- *園や地域で、できることを模索したい。
- *コーディネーター(通訳)をお願いできるといい。
- *丁寧に対応するようにしている。
- *翻訳タブレット等を使用している。
- *お互いの文化を尊敬し合い、理解し合えるようになることを願っている。